鉄道のまち 「さいたま」の 140年 2025 一未来に向けて

シンポジウムの趣旨

鉄道がさいたま市の生活文化に及ぼした 影響や、鉄道のまち「さいたま」のこれまで の変遷とこれからについてを議論します。 皆様のご参加をお待ちしております。

令和 7年

1月11日⊕

開場

17:00

開演

18:00

終演予定

20:00

レイボックホール

RaiBoCHall

さいたま市民会館おおみや

小木一ル(7階)

定員300名

申込方法

以下 10・20 のいずれかの方法でお申込みください。

- ① 文化振興事業団HPまたはQRコードから申込フォームにアクセス
 URL https://formok.com/f/rlko9rhg
- ② SaCLaインフォメーションセンターへ電話

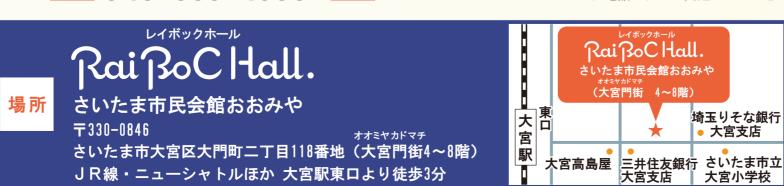
申込期間

令和6年12月3日(火)から令和7年1月10日(金)23:59 まで ※電話でのお申込みは10日17:00 まで 申込 QRは こちら Smartphone or Tablet

問い合せ

SaCLaインフォメーションセンター

TEL 048-866-4600 営業目 火~土の9時から17時 (日・月・祝日・年末年始は休み。月曜が祝日の場合翌日火曜も休み) ※お電話のおかけ間違いにご注意ください。



さいたま市 PRキャラクター **つなが竜ヌゥ**

【主催】さいたま市/公益財団法人さいたま市文化振興事業団 【協力】鉄道博物館/東日本旅客鉄道株式会社大宮支社

シンポジウムの開催目的

今年度末には、昨年度の浦和駅につづいて大宮駅が開業140周年を迎えます。大宮駅の開設は、今日のさいたま市の発展に大きな影響をもたらしました。そこで、大宮駅開業140周年を機会に鉄道文化に関するシンポジウムを開催し、さいたま市と鉄道とのかかわりを考え、市民等にさいたま市の鉄道文化について理解と関心を深めていただくことを目的とします。

主な内容

- ・鉄道がさいたま市の生活文化に及ぼした影響について
- ・鉄道のまち「さいたま」のこれまでの変遷とこれからについて
- ・そのほか、シンポジウム参加者の質問にお答えします。

出演者

コーディネーター

· 老川慶喜(立教大学名誉教授)

パネリスト

- · 伊藤陽平(日本学術振興会特別研究員)
- · 奥原哲志(鉄道博物館主幹学芸員)
- ·志村和臣(東日本旅客鉄道株式会社大宮支社地域共創部長)

司会

・佐久間愛(フリーアナウンサー)

鉄道のまち「さいたま」 ●明治 令和●

